

## 都道府県へのアンケート結果

# 都道府県アンケート結果 概要

調査の趣旨： 各国立大学の強み・特色を活かして、少子高齢化、地方創生、グローバル化などの重要な社会的課題に対する取組が進められる中、地域における国立大学の役割や地域との連携について、各都道府県側のご意見を収集し、連携状況や課題について把握する。

調査対象： 47都道府県（産業連携・地域支援課、国立大学法人支援課の協力のもと、調査を実施）へアンケートを依頼し、全都道府県から回答あり

調査期間： 平成30年11月13日調査依頼 ⇒ 平成30年12月14日〆切

※地方創生部局や企画部など、都道府県により回答した部局は異なる

## 設問 1

過去3年以内に、各都道府県と地域の国立大学が、地域の産業の振興や専門人材育成、社会人の学び直し等に関して連携した事例はありますか。

回答 **全ての都道府県が「国立大学と連携している」と回答。**

（産業・医療・人材育成・地方創生・人生100年・高齢化対策・防災対策など、多岐に渡り連携されている。）

## 設問 2

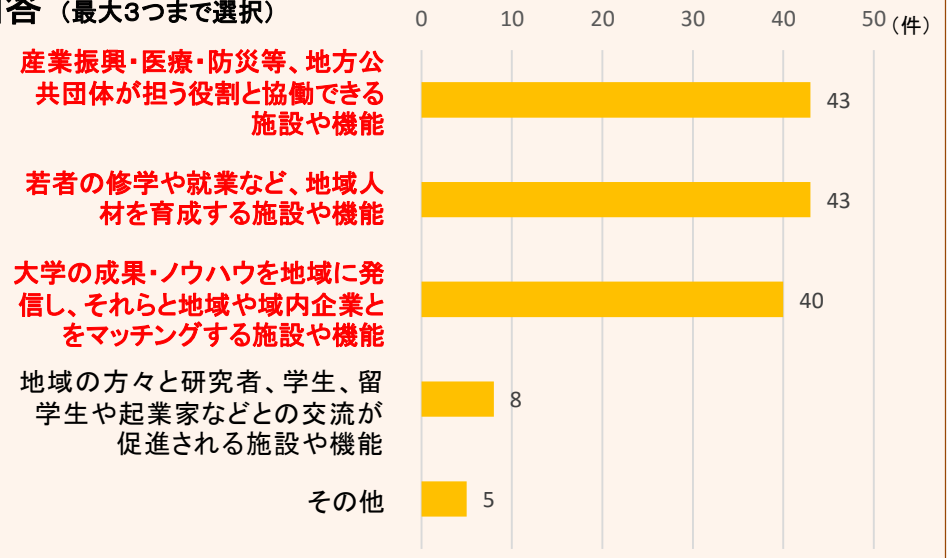
「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」の趣旨を踏まえ、各都道府県の立場から、地域の産業の振興や専門人材育成、社会人の学び直し等に関して、地域の国立大学はどのような存在ですか。

回答 **全ての都道府県が「以前より国立大学とは連携しているため、自治体にとって必要不可欠な存在」と回答。**

## 設問 3

各都道府県と国立大学の連携を加速させるには、国立大学にどのような施設や機能の整備・充実が必要だと思いますか。

### 回答（最大3つまで選択）



## 【アンケート結果のまとめ】

- ・ 全ての都道府県は地域の産業や人材育成、地域の課題などを解決するために国立大学と連携しており、必要不可欠な存在。
- ・ さらに連携を加速させるには、「地方公共団体が担う役割と協働できる施設」や「若者の修学や就業など、人材を育成する施設」が必要との意見が多かった。
- ・ 手法としては、新規の施設を作るよりも、既存施設を有効活用する方が効果的との意見があった。
- ・ また、地元の国立大学の既存施設を外部の者が使いやすい仕組みがあると良いとの意見があった。

⇒ **国立大学が地域の人材育成等の拠点となり、地域の様々な課題解決のために県と更に連携することを期待する意見が多かった。**